ソフトバンク・ペイメント・サービス

山浦 政彦 取締役 に聞く

導入の理由として、豊富な決済手段、決済システムの堅牢性とはもちろん、ソフトバンクの100％子会社という点が大きいと思います。資金面だけでなくセキュリティ面でも、徹底した管理が求められる通信事業者であるグループ企業の方針に伴い、しっかりとしたセキュリティ体制を構築し続けており、外部認証もいち早く取得しています。これらの取り組みが、事業者にも評価されて、安心して導入いただいています。

手数料の面でも、当社はグループの決済を統合しています。取り扱うボリュームが大きいのでスケールメリットを生かした提案力でご要望に応えています。

決済の特徴

導入実績8200サイト 確かな品質と安心感

現在（10年12月末）、当社の決済サービス導入数は8977サイト、決済取扱高は月間780億円を超えています。08年より本格的にグループ外への提供を開始しましたので、約2年間でこれだけ多くの事業者に当社のサービスを導入していただいたことになります。

10年の取り組み

スマートフォンに対応 自動的に最適画面に

昨年の大きな流れとして、携帯電話市場でスマートフォンへのシフトが始まってきました。スマートフォン市場の拡大に向けて、当社ではスマートフォン対応を強化しています。iPhoneはソフトバンクモバイルが販売している機種ということもあり、いち早く最適化した決済画面の提供を開始しました。

当社の決済を導入した場合、利用者がどの端末でアクセスしているかを判別し、その端末（PC・携帯・スマートフォン）に応じた最適な決済画面が表示される仕組みになっています。事業者は、当社の決済を導入いただくだけで個別の対応が不要になります。このサービスを求めて当社に切り替えられることもあります。

Androidに対しても1月から提供を開始し、今後はスマートフォン同様に拡大が予想されるタブレット端末に関しても対応していく予定です。

スマートフォン対応に加え、商品代金を携帯利用料金に含めて請求できる携帯キャリア決済の充実にも力を入れています。「auかんたん決済」を追加して、3キャリアに対応しました。豊富な決済手段に加え、各デバイスに合わせた決済画面も提供することで、最適化した環境を用意しています。

今年の展開

資金決済法に対応 新たなサービス創出

昨年4月に、資金決済システムの安全性、効率性、利便性の向上が目的として「資金決済法」が施行され、当社では、「第三者型発行者」の登録を行いました。既存の決済サービスに加え、ギフトカードやポイント（仮想通貨）発行、管理や会員管理、ID発行、認証までをワンストップで提供するサービスを開始します。事業者はポイントの引当金など煩わしい作業を当社に任せて本業に集中できます。

さらに、日本国内だけでなく、海外展開を考えている事業者向けにマルチカレンシー展開をアジア市場を中心に積極的に展開していく方針です。